

## 夏季研修会報告

8月8日(金) ほのか小学校

**研究発表1** 「自己の思いを具体的に表現できる児童の育成を目指した音楽科授業づくり」 桃山小学校 山口泰幸先生

音楽的な見方・考え方を働かせて、自己調整しながら表現したい音楽に近づくことのできる実践でした。学びの蓄積を目指したモジュール学習の「マイタイム」、学びの段階や変容を自覚できる一枚ポートフォリオの「マイロード」の二つの手立てにより、自己調整しながら表現したい音楽になるよう工夫する児童の姿が見られました。

**研究発表2** 「音楽のよさを音楽づくりに生かす児童の育成」

東丘小学校 吉田悦子先生

音楽を形づくっている要素を実感して捉える「耳マッチョタイム」と試す・録音・鑑賞を繰り返すデジタルポートフォリオ「ねるねるねる音」を手立てとした実践でした。音楽を形づくっている要素を自覚して取り入れ、繰り返し試しながら音楽をつくり上げる児童の様子が見られました。

**ワークショップ** 「音楽づくり・創作につながる常時活動とワークショップ」

筑波大学附属小学校教諭・筑波大学非常勤講師 平野次郎先生

音楽づくりにおいて、作り手だけでなく、聴き手を育てることも大切であるため、発表の際には聴き手につくり手の意図を予想させる声掛けをされていることなど、音楽づくりのポイントをお話いただきました。その後、トライアングルやカホンなどの打楽器を手にした受講者全員が児童役となり、即興的な音楽づくりが行われ、一音リレーや四人一組でのリレー奏など、即興的な音楽づくりの活動が次々と紹介されました。その中で見られた、平野先生からの「面白い音の出し方だね」「どうしてその順序にしたの?」という受講者への問い掛けや、よさを共有する様子も学びとなるすばらしいワークショップでした。



## 部活動指導者研修会

8月25日(月) 扇台中学校

箏曲家・作曲家の野村祐子先生を講師にお招きし、和楽器「箏」の講義実技講習を開催しました。野村先生の美しい演奏「六段の調べ」から始まり、楽器の歴史、楽譜の読み方、調弦の仕方などの説明がありました。「荒城の月」と「さくらさくら」の実習の時間では、受講者一人一人に声を掛けていただき、演奏するときの爪の角度や、よりよい音色を出すための奏法など、具体的なアドバイスをいただくことができました。受講された先生方からは、「六段の調べでは、本来の調弦によるシンプルながらも美しい表現に聴き惚れた」「直接ご指導をいただいたので、和楽器の指導に対して自信がついた」と、満足度の高い研修会となりました。



## 研究部会活動報告

### 第2回「個別最適な学びについて」

研究部3名の先生方より以下の実践の紹介がありました。

「思いや意図を深める歌唱の学習方法」  
・ 子どもが自分の課題に合わせて練習方法を選択しながら練習を進める方法や「音楽の言葉カード」を手掛かりとする活動

「全体指導によるリコーダーの学習方法」  
・ 子ども自身がワークシートの流れに沿って、学びを振り返りながら自分のペースで練習を進める方法

・ 個別最適な学習への導入や全体指導の方法



「表現したい音楽に向かうための音楽づくりの学習方法」

・ 年間を通して常時活動を行い、「要素」について学びを蓄積する方法や自らが目標を決めて表現したい音楽に向かうための方法

### 第3回「合唱指導ワークショップ」

滝ノ水中学校合唱部顧問、山本高栄先生の合唱講座では、楽曲分析を通して曲を深く理解し、教師が教え込むのではなく、生徒同士の対話を通してパートの関わりに気付かせる

手立てが紹介されました。



### 今後の研修案内 学習会

令和7年12月13日(土)


イーブルなごや

### 冬季研修会

令和8年2月11日(水)

ルブラ王山

会報「名音教」は、年3回発行します。次号、第84号は3月10日に発行予定です。

名音教の活動や過去の会報は、 [音研のHPでご覧ください。](#)

会員登録申し込みも可能です。お問い合わせは 名音教広報部 野立小学校 徳田幸子まで